

高石商工会議所景気観測調査 2019年12月調査

(調査概要)

○調査対象:高石市内 59 社(業種内訳 製造業10社、建設業11社、小売業・卸売業16社、飲食業10社、サービス業12社)

○調査時期:2019年12月

○調査項目:業況、売上高、採算、資金繰り、仕入価格、従業員(人手)状況

○調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		仕入単価		従業員	
増加	12	下落	0	不足	14
不変	22	不変	29	不変	45
減少	25	上昇	30	過剰	0

すべての業種で**従業員の不足感**と**仕入価格の上昇**があり、その傾向はより顕著になっている。**人材確保**や**生産性向上**が大きな課題であり、**国の補助金**や**ITツール**による**生産性向上の支援**を活用し取り組みを進めたい。

(製造業)



売上高		従業員		仕入単価	
増加	1	不足	3	下落	0
不変	3	不変	7	不変	3
減少	6	過剰	0	上昇	7

売上高は軟調であり、**仕入単価の上昇**、**人手不足**により**業況も悪化**している。そしてその傾向が続くと予測されている。**ものづくり補助金の活用**や大阪人材確保推進会議が実施する**製造業向けの人材確保支援**を活用するなど、業況改善への取り組みは必須である。

(建設業)



売上高		仕入単価		従業員	
増加	5	下落	0	不足	4
不変	4	不変	8	不変	7
減少	2	上昇	3	過剰	0

景況感は比較的良く今後も続くと見込まれている。ただ、**仕入単価の上昇傾向**や**人手不足感**は**相変わらず**であり、大阪人材確保推進会議が実施する**建設業向けの支援策**を活用するなど、人材確保の取り組みを進めたい。

(小売・卸業)



売上高		仕入単価		業況	
増加	3	下落	0	好転	2
不変	6	不変	10	不変	7
減少	7	上昇	6	悪化	7

売上高の減少、仕入単価の上昇などにより業況が悪化しており、先行きも同様の予測である。持続化補助金の活用や各種展示会への出展など販売促進策を進めることが望まれる。

(飲食業)



売上高		仕入単価		業況	
増加	1	下落	0	好転	0
不変	4	不変	1	不変	5
減少	5	上昇	9	悪化	5

売上高の減少、仕入単価の上昇傾向が続き業況が悪化しており、今後もその傾向が続くと考えられている。持続化補助金の活用のほか「大阪府受動喫煙防止条例」への対応としては大阪府受動喫煙防止対策補助制度の活用も検討したい。

(サービス業)



売上高		仕入単価		採算	
増加	2	下落	0	好転	1
不変	5	不変	7	不変	7
減少	5	上昇	5	悪化	4

売上高の減少や仕入単価の上昇で、採算が悪化しており、今後もその傾向が続くと考えられている。持続化補助金の活用やSNSの活用、集客セミナーへの参加などプロモーションを強化の取り組みを続けたい。